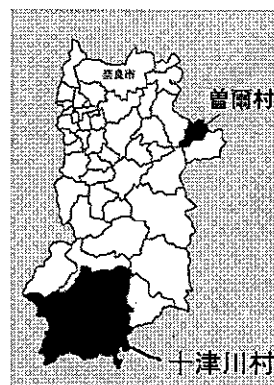


奈良県へき地診療所の問題点 診療所の立場から

H20/6/3

曾爾村国民健康保険診療所
吉本清巳



曾爾村の医療

人口 2026人(H20/5月) 高齢化率 37.62% (H20/5月)
面積 47.8 km² 人口密度 52.0人/km²

医療機関 曾爾村国民健康保険診療所(医科・歯科)
関本医院

救急 東宇陀広域消防(曾爾村, 御杖村)

後方病院 宇陀市立病院 (小児科常勤不在)
(約30分) 名張市立病院 (近年縮小傾向)
寺田病院

高度医療が必要な場合
奈良県立医大病院
天理よろず病院
高井病院, 平井病院, 済生会中和病院

曾爾村国民健康保険診療所

- 昭和45年開院
- 昭和48年歯科診療開始
- 昭和56年自治医大医師派遣開始

医師 1名 看護師 2名
事務長 1名 (住民生活課課長兼任)
医療事務 3名 (パート, かつては村職員)
歯科医師 1名 歯科衛生士1名(パート)

設備:単純X線装置 超音波装置 心電図 上部内視鏡
牽引機 電気治療機
検査:血液検査等は委託(名張メディック)

レセプト件数(医科)約400件/月
外来患者数 平均35名/日
時間外対応 基本的に在宅患者のみ

曾爾村の介護・保健・福祉

◆村内施設

●ケアハウス「憩いの森」(社会福祉協議会運営)

看護職員3名 介護職員約30名 事務員数名

●東宇陀訪問看護ステーション

宇陀訪問看護ステーション(榛原)の支所
(役場内に事務所, 看護師2名)

◆人員

村保健師:2名

ケアマネージャー:3名(ケアハウス1名と訪問看護師2名)

曾爾村の医療の問題点

- 関本医師が高齢
- 自治医大派遣医師が2年交替
- 小児科医療までの距離が遠い
- 専門的な治療が受けれる施設までが遠い

曾爾村国保診療所の問題点

- 歯科医師が9月末で退職、後任未定
- 累積赤字8800万円
- 駐車場が狭い
- 施設の老朽化
- 事務職員の今後(1人産休予定)、パートの是非

曾爾村の介護・保健・福祉の問題点

- 利用可能な介護サービスが少ない(リハビリがない)
- 在宅医療、在宅介護ができない家庭も多く、施設介護に頼らざるを得ないところがある。
(老老介護や子供が都会に行っている家庭が多い)

十津川村国保小原診療所

スタッフ: 医師 1名 看護師 3名(常勤)
事務長(専任) 1名 事務 2名

設備: レントゲン撮影装置 超音波検査機
透視台 抹消血算定機 牽引機
温熱療法(パラフィン浴) 電気治療機

レセプト件数 約590件/月(H16)
外来患者数 約55-60人

時間外診療 5~18件/月
ヘリコプター搬送 1~2件/年

十津川村の医療

人口 4616人(H16) 高齢化率 37.9%(H16)

面積 672.35km² 人口密度7.2人/km²

医療機関 十津川村国保上野地診療所

十津川村国保小原診療所

中川医院

(千葉歯科医院)

(下西歯科医院)

救急 なし

後方病院 奈良県立五條病院(1時間30分)

新宮市立医療センター (1時間20分)

紀南病院(三重) (1時間40分)

高度医療が必要な場合

奈良県立医科大学 (2時間30分)

社会保険紀南病院(田辺市)(2時間)

天理よろず病院

十津川村の介護・保健・福祉

施設

特別養護老人ホーム「高森の郷」

開業の嘱託医, 看護職員2名

訪問看護ステーションなし

人員

村保健師 2名

ケアマネージャー4名(村2名, 社協2名)

十津川村の医療の問題点

- 救急隊がない
- 上野地診療所島医師が退職(小児医療にも影響大)し村の医師2名に
- 中川医師が高齢
- 自治医大派遣医師が2年交替
- 後方病院までの距離が遠い→インターネットでのコンサルトが有効
- 専門医療まで遠い→DMの眼科診察など高齢であるほどできていない。
- 道路状況は改善されつつあるが、やはり大変である。

十津川国保診療所の問題点

- 救急患者の受け入れ(2次3次含めて)が多く、日常診療に影響
- 医師の仕事量、負担が多い。
- 夜間救急、時間外呼び出し(急患、検屍等)が多い。特に検屍が医師2名では大変。

十津川村の介護・保健・福祉の問題点

- 利用可能な介護サービスがかなり少ない(訪問看護St,リハビリがない)
- 在宅医療、在宅介護ができない家庭も多く、施設介護に頼らざると得ないところがある。(老老介護や子供が都会に行っている家庭が多い)
- 限界集落がある。

その他の診療所の問題点

- 野迫川村診療所 看護師1名体制で看護師が9月末退職予定。
- 野迫川村診療所 救急隊の未整備
- 下北山村診療所 常勤看護師2名体制、1名退職に伴い、定数減予定
- 下北山村 在宅リハビリ、在宅看護などの資源の不足
- 上北山村 事務員が最近異動、人材確保にいつも苦心
- 室生村診療所、村内2箇所兼任で負担大
- 五條市大塔診療所 看護師1名体制で、体調不良時などに不安
- 川上村、十津川村上野地診療所、山添村 医師の退職続く
- 中核病院の人材不足、三重県紀南病院、名張市立病院などは医師数減によりかなり救急の受け入れができなくなってきている。

(へき地診療所では、中核病院には本当に助けていただいています。今後ともよろしく願います)

へき地での人材確保

- 地元の看護師は診療所ではキーマン、しかし、短期の休暇（育児）や急な退職になかなか対応できない。
- 事務職員は、一般事務職員が赴任することが多く、レセプト業務などが、かなり不十分で大量の返戻がでていることがある。
- 訪問看護や在宅リハビリなど、介護サービスを展開したくてもなかなか困難。

へき地診療所の医師確保

◆常勤医師

メリット

- 継続性があり住民への安心感
- 継続的な保健、福祉活動、健康増進活動が可能
- 在任中は医師確保に心配がない

デメリット

- 医師のキャラクター、能力に差
地域医療に向かない場合も
- 退職時の医師確保が困難
- 診療のレベル、患者との相性に偏り

医師側のデメリット

- 待遇が改善されない
- 研修が保障されない

◆ローテート医師

メリット

- 医師確保の心配がほぼない
- 治療に対して、チェック機構
- 専門性にバリエーション

デメリット

- 継続性が確保されない
(複数年の健康増進活動などが困難)
- 医師のレベルに差
(経験の浅い医師)

医師側のメリット、デメリット

- 待遇が変わっていることがある
- 在任期間が過ぎれば専門性やキャリアアップも考えられる
- 経験値は上がる(開業前提なら尚よい)



資料①

要介護認定の状況

平成18年度	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
1号被保険者	111	92	54	45	40	22	364
2号被保険者	1	2	0	1	1	1	6
総数	112	94	54	46	41	23	370

平成19年度	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
1号被保険者	133	61	62	53	38	26	373
2号被保険者	1	2	0	1	2	1	7
総数	134	249	62	54	40	27	380

居宅介護 サービス受給者数

18年度	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
1号被保険者	45	55	22	16	16	8	162
2号被保険者	0	0	0	0	0	1	1
総数	45	55	22	16	16	9	163

19年度

1号被保険者	54	36	25	25	18	7	165
2号被保険者	0	0	0	0	0	1	1
総数	54	36	25	25	18	8	166

地域密着型サービス受給者

グループホーム入所者

		要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
1号被保険者	18年度	1	1	3	2	0	7
	19年度	1	3	2	2	0	8

施設介護サービス受給者数

	介護保険福祉施設	介護老人保険施設	介護療養型医療施設	計
18年度	44	22	6	72
19年度	44	26	7	77

サービス受給総数	18年	242
	19年	251

資料②

救急患者搬送状況

(平成19年 各医療機関に搬送された件数)

* 中川医院	4	件
* 小原診療所	34	件
* 上野地診療所	7	件
* 五條病院	71	件
* 新宮医療センター	51	件
* その他の病院	42	件
合計	209	件

時間外勤務出勤回数

小原診療所	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	1ヶ月平均回数
平成18年度	10	10	10	4	16	12	7	11	16	14	6	4	120	10回
平成19年度	12	17	13	9	15	10	6	10	6	5	5	7	115	9.5回

上野地診療所	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	1ヶ月平均回数
平成18年度	5	5	4	7	4	1	1	1	3	2	3	6	42	3.5回
平成19年度	3	3	2	1	3	4	2	0	3	1	0	3	25	2回

ヘリコプター要請回数

(医療機関からの要請)

年度	件数	要請医療機関	搬送先	ヘリ種類	状態
平成16年	2 件	上野地診療所 小原診療所	奈良県立医大 救命救急センター	防災ヘリ 防災ヘリ	95歳男性心筋梗塞 男性 重機ごと転落事故
平成17年	1 件	上野地診療所	奈良県立医大	防災ヘリ	頭痛訴え処置困難
平成18年	2 件	小原診療所 小原診療所	奈良県立医大 奈良県立医大	防災ヘリ 防災ヘリ	87歳女性 意識障害 20歳代男性 交通事故心肺停止
平成19年	0 件				
平成20年	1 件	上野地診療所	奈良県立医大	防災ヘリ	86歳女性 転落事故 顔面打撲

資料③

平成19年度診療患者数

診療所	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計	
	診療 日数	患者数	診療 日数	患者数	診療 日数	患者数	診療 日数	患者数	診療 日数	患者数	診療 日数	患者数	診療 日数	患者数	診療 日数	患者数	診療 日数	患者数	診療 日数	患者数	診療 日数	患者数	診療 日数	患者数	診療 日数	患者数
上野地	18	593	19	666	18	679	18	619	16	611	16	547	18	640	19	698	17	668	17	562	16	559	17	651	209	7493
小原	17	862	17	948	19	876	19	967	18	948	14	824	19	1010	19	950	18	869	17	820	16	830	18	877	211	10781
計	35	1455	36	1614	37	1555	37	1586	34	1559	30	1371	37	1650	38	1648	35	1537	34	1382	32	1389	35	1528	420	18274

上野地診療所 小原診療所

総患者数 7,493 人 10,781 人

診療日数 209 日 211 日

1日平均患者数 36 人 51 人

終日(福、午後)後(夜)あり

訪問診療実施状況(往診)

診療所	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計	
	日	回数	日	回数	日	回数	日	回数	日	回数	日	回数	日	回数	日	回数	日	回数	日	回数	日	回数	日	回数	日	回数
上野地	7	10	7	10	7	8	6	9	5	7	8	11	9	14	3	5	7	9	4	8	3	6	3	4	69	101
小原	13	32	11	18	11	20	17	30	13	22	8	15	9	14	11	17	8	11	6	8	5	10	7	11	119	208
計	20	42	18	28	18	28	23	39	18	29	16	26	18	28	14	22	15	20	10	16	8	16	10	15	188	309

上野地(国経診療所)あり(小原)